

ユニオンファンド 月次レポート

第137号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2020年4月6日作成

MONTHLY TOPIC

危機に立ち向かう

新型コロナウイルスがもたらす肺炎による死者を一人でも減らすために、あらゆるところで様々な努力がなされています。その一つが、人の動きを制限しウイルス感染のピッチを抑えることですが、このことが経済の活動レベルを著しく低下させています。景気が悪化することを見越して、世界の株価はまさにつるべ落としの下落を演じ、一時は軒並み3割前後も下落しました。ユニオンファンドの基準価額も、過去最高値から3割近い値下がりとなりました。

投資家の皆様は、自分の財産が減ってしまったことを残念に思い、将来への不安を強めておられるかもしれません。ただ、一方では、今こそ将来のための投資をするべき時だと考えておられる方もたくさんおられます。現に、ユニオンファンドには連日スポット購入が続いています。また、直近のつみたて投資の金額も、ボーナス時の増額を除けば過去最大レベルを維持しています。大変ありがたいことで、心から感謝申し上げます。

みんなで乗り切っていきましょう！

こういう大変動を見ると、いつ底を打つのか予想できなければとても投資などできないと思いがちです。しかし、株価変動の短期予想はとても難しいものであり、裏目に出ることさえよくあります。いつ下落が止まるので、そこで思い切って買ってください、と言うことができればいいのですが、残念ながらそれはあまりにも難しいです。

私たちがすべきことは、運用者としては、下がった時にも動じることなく、むしろ下がったからこそありがたく買い増しを続けることであり、販売者としては、皆様に安心して投資を続けていただけるよう、メッセージを発信し続けることだと思っています。なぜなら、世界の経済と優れた企業の長期的な成長とともに、株価もファンドの基準価額も上昇していくと私たちは考えているからです。

ある意味ではいい機会でもありますので改めて申し上げたいことがあります。それは、第一に、過去にもこうした危機はいくらでも起きてきたということであり、第二に、そうした数々の危機を人類はいつも乗り越え、株価も最高値を更新し続けてきたということです。このうち前半部分は残念ながら現実になってしまったわけですが、これからは後半部分がやってくると、ぜひ前向きに考えていただければと思います。今が最悪の時期であるなら、将来に向けた投資という点では最良の時期でもあるのです。

もちろん楽観は禁物で、厳しい投資環境が続く可能性があると思っています。しかし、どうか不安に押しつぶされることなく、最悪の時期はいつかは過ぎ去り、ごく普通に株価が上がっていく明るい時期が必ず来ると信じて、着実に歩み続けていただければ幸いです。その成果をお客様にしっかり受け取っていただくことを、私たちはこれからも常に目指してまいります。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2020年3月末現在)

基準価額

20,024 円

純資産総額

60 億 37 百万円

期間別騰落率(%)

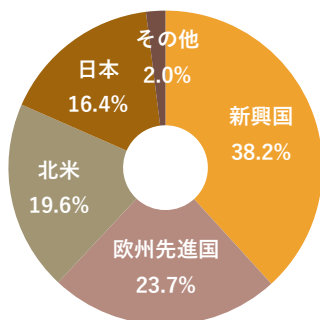
1 ヶ月	-16.34%
1 年	-12.96%
3 年	-11.84%
5 年	-7.59%
10 年	44.62%
設定来	100.24%

複利年率(%)

6.25%

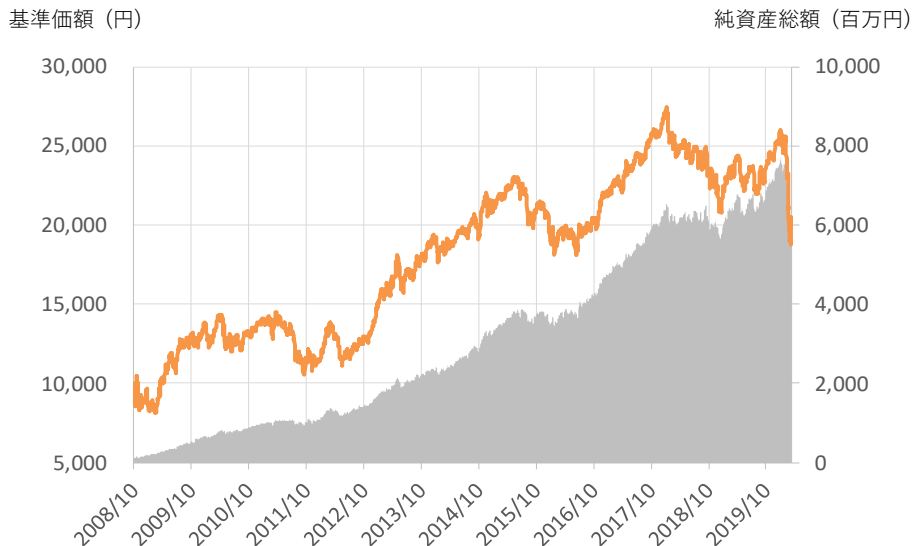
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2020年2月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	6.1%	-7.2%
スパークス F	日本	10.7%	-7.0%
キャピタル F	欧米	15.7%	-13.4%
ハリス F	欧米	17.2%	-27.5%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	8.8%	-15.4%
コムジェスト・エマージング F	新興国	30.5%	-22.6%
現金等	-	11.0%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2020年4月の市場動向と運用状況

投資環境

世界の株式市場は新型コロナウイルスの感染拡大を警戒し、急激かつ大幅に下落しました。背景は、先月号の P1でも触れたとおりですが、加えて3月中旬には、通常なら株価下落時に買われる国債が逆に売られ、リスク回避先資産の筆頭とも言える金 (Gold)までもが値下がりするなど、混乱が深まっていることをうかがわせる事態も発生しました。こうした安全資産の値下がり、株価の急落で損失をこうむった投資家が損失の穴埋めのために他の資産を売らざるを得なくなったことが一因と見られていますが、それだけではなく、恐怖にかられてとにかく何でも売って現金に換えようという売りが殺到したからでもあろうと思われまます。

この間、米国連銀は、大幅な利下げを含む金融市場安定化策を相次いで実施しましたが、金融緩和では需要激減による打撃を緩和できないとして、株式市場ではほぼ無視されました。また、米国で利下げがあったにもかかわらずドルが上昇するというやや異例な現象も見られました。基軸通貨であるドルの奪い合いと言ってもいいこうした状況は、国際金融市場でも資金のやり取りが一気にタイトになったことを示すものでした。

運用の状況

こうした大混乱の中で、ユニオンファンドも大幅に値下がりしましたが、コロナ問題が永遠に続くわけではないとの考えから、昨年9月以来となる組入ファンドの買い増しを行いました。組入比率は一時84%台まで低下しましたが、この買い増しにより月末には89.0%となりました。

今後の見通しと運用方針

感染拡大が続く限り、ウイルスの拡大を抑制するための外出禁止や都市封鎖などの策は継続されるでしょうから、経済的損失もまた拡大し続ける可能性があります。雇用情勢は急激に悪化しており、消費の回復には時間がかかるでしょうし、需要の減少を受けて設備投資も当分は回復困難と見られます。原油価格の下落の影響もあって、米国の大手シェール石油会社が破綻しましたが、エネルギー産業に限らず債務を多く抱えた企業を中心に、売上の大幅減による経営危機が多発する恐れもあります。ウイルス感染が沈静化すれば企業の活動は正常化に向かうものの、一気に回復というのは期待しづらいところであり、企業業績も当面厳しい状況が見込まれます。その間、経済は政府の政策を待つ形になると思われます。幸い各国は財政支出の大幅な拡大を行う方向ですが、人々が家に閉じこもっているときにどれほど効果があるか、見守っていくことになりそうです。

現在、米国と欧州を中心にウイルス被害は極めて深刻ですが、感染が先行した中国や韓国ではとりえず沈静化した様子が見え始めます。一時は感染者と死者が急増していたイタリアでさえも、鈍化の兆しが見え始めています。まだまだ楽観できる段階ではないものの、今後1年、あるいはそれ以上にわたって今の状況や今以上の悪化が続くというよりは、半年後か、遅くとも年末くらいまでには、ある程度状況が改善するのではないかと期待しています。

今後も市場が混乱する場面がおそらくあるでしょうが、感染の状況はもちろん、实体经济への影響など状況を慎重に見極めながら、基本は買い増しによって組入比率をさらに引き上げる方向で前向きに運用していく考えです。

運用責任者 久保田徹郎

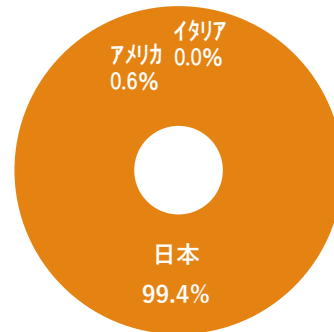
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



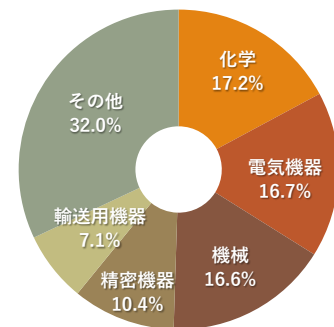
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 花王	5.2%	日本	化学	トイレット紙首位
2 日本電産	4.5%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
3 テルモ	4.3%	日本	精密機器	医療機器（カテーテル）
4 ダイキン工業	4.2%	日本	機械	エアコン世界首位
5 プリチストン	3.9%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
6 浜松ホトニクス	3.9%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
7 信越化学工業	3.6%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
8 トヨタ自動車	2.9%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
9 TOTO	2.8%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
10 三浦工業	2.3%	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
上位10銘柄	37.6%	現金等	7.6%	

業種別構成比



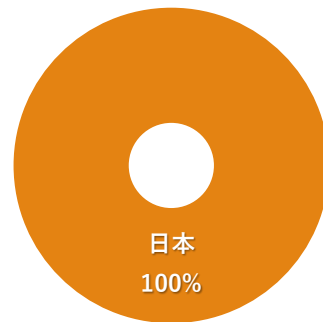
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年3月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



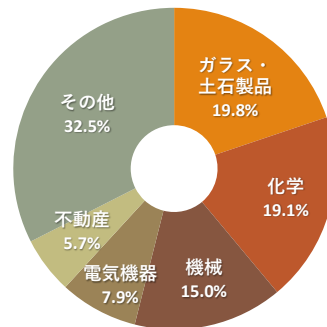
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミックス基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
オルガノ		日本	機械	水処理装置大手
ベイクレスト・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
エフビコ		日本	化学	食品トレなど容器の大手
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等	8.1%			

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年2月末現在 >

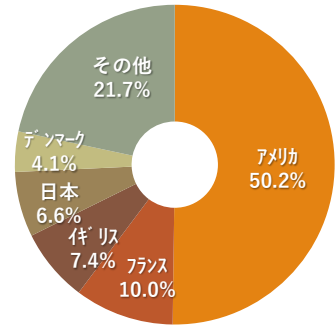
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



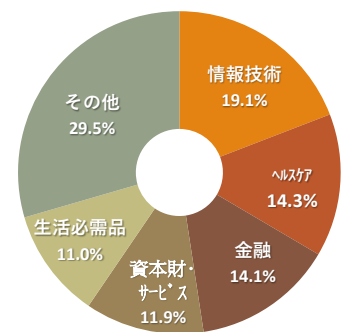
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Safran	2.2%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
2 Visa	2.1%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
3 AIA	2.1%	香港	金融	生保・金融サービス
4 Airbus	2.0%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
5 TSMC	1.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー
6 Broadcom	1.8%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
7 AstraZeneca	1.8%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
8 Novo Nordisk	1.8%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
9 ASML	1.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
10 Microsoft	1.5%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
上位10銘柄	19.0%		現金等	4.4%

業種別構成比



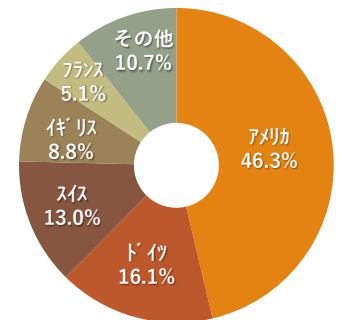
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年2月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



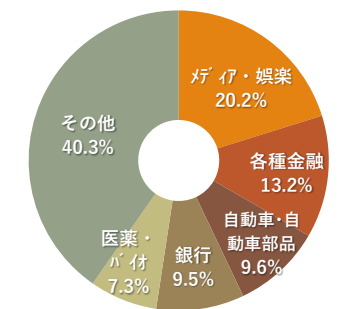
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	4.9%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 DAIMLER	4.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
3 GLENCORE	4.9%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
4 ALPHABET	4.6%	アメリカ	メディア・娯楽	Googleの持ち株会社
5 CREDIT SUISSE	4.3%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
6 CNH INDUSTRIAL	4.2%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
7 BAYER	4.0%	ドイツ	医薬品・バイオ	大手化学医薬品メーカー
8 ALLIANZ	3.6%	ドイツ	保険	総合保険大手
9 HILTON WORLDWIDE	3.6%	アメリカ	消費者サービス	世界有数のホテルチェーン
10 JULIUS BAER	3.5%	スイス	各種金融	プライベートバンク
上位10銘柄	42.6%		現金等	3.5%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年2月末現在>

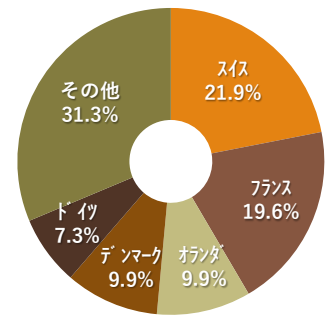
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



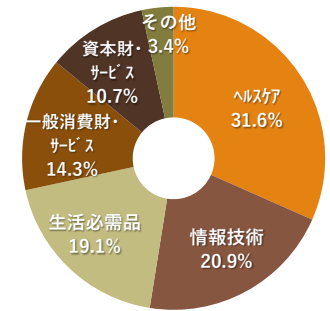
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ROCHE HD	5.7%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
2 NOVO NORDISK	5.1%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 ASML HD	4.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 HEINEKEN	3.9%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
5 LINDT & SPRUENGLI	3.5%	スイス	生活必需品	チョコレートなどの食品・飲料
6 AMADEUS	3.5%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
7 ESSILORLUXOTTICA	3.5%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
8 LONZA	3.4%	スイス	ヘルスケア	医薬品・化粧品
9 STRAUMANN HD	3.2%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
10 INDITEX	3.2%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
上位10銘柄	39.5%		現金等	4.6%

業種別構成比(マザーファンド)



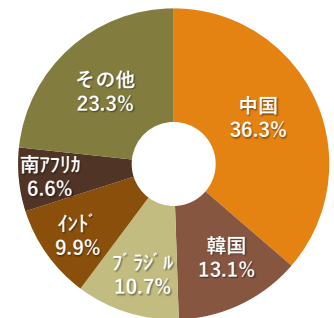
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年3月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



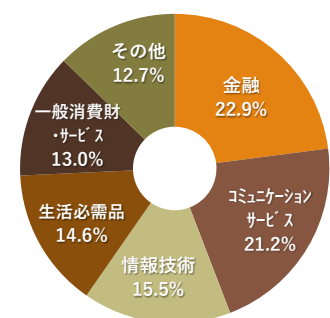
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 PING AN INSURANCE	7.0%	中国	金融	保険大手
2 NETEASE ADR	5.8%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
3 TSMC ADR	4.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー
4 SAMSUNG ELECTRONICS	4.8%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
5 NC SOFT	4.2%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
6 HENGAN INT'L	4.0%	中国	生活必需品	トリケラ製品国内大手
7 POWER GRID OF INDIA	3.8%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
8 AIA	3.4%	香港	金融	生保・金融サービス
9 INNER MONGOLIA YILI	3.4%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
10 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.2%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
上位10銘柄	44.4%		現金等	4.9%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年3月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

「定期定額購入」と「スポット購入」は併用できます。

最近の相場で、ファンドを追加購入される、ご検討いただいているお客様が多くいらっしゃいます。普段、毎月積立ての「定期定額購入サービス」のみをご利用されているお客様が追加で購入をされる場合、毎月の購入金額の変更以外に、「スポット購入」による追加購入もご利用いただけます。

「スポット購入」は、弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。購入金額は「1万円以上1円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。口座開設いただいた際に弊社よりお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご案内の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からのお振込みによりファンドを購入いたします。（購入方法の概要は「お客さま控え」および弊社HP「ファンドの購入」ページに記載しております。）

取引残高報告書について

今回、「2020年1月～3月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決算日)	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成日（2020年3月31日）現在の基準価額です。
評価金額	作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。